

アプリのこと

令和元年9月25日発行
つどいの家・アプリ編集
〒982-0816
仙台市太白区山田本町 3-20
TEL 022-743-1882
FAX 022-743-1883



宿泊体験で七ヶ宿のきららの森コテージに泊ってきました。早朝はあいにくの大雨でしたが、帰る前には真っ赤な太陽が出てきました！そこで記念写真を1枚撮りました・・・みんなまだまだ眠そうですね。（記：小原）

ひとりごと ～公園管理って大変～

平成 29 年 6 月、つどいの家・アプリの利用者が、向山中央公園の側溝で足を踏み外し、転倒して足を骨折した事故がありました。事故後、利用者の通院処置はもちろん、行政に事故報告を行い、担当者より「重大な事故については、改善をはかります」と話していただきました。

公園は、利用する人の一定の自己責任のもと遊ぶ場所ですが、誰でも安心して遊べるように重大な事故につながるおそれのある物については、除去することが望まれます。公園管理上、側溝を除去することはできませんが、今回安全対策を講じていただけることについては、大変うれしく思いました。



公園管理では、砂場や遊具の管理に限らず、水道やトイレなども、管理している人の苦勞を感じます。気持ちよく利用したいと思う一方、落書きや夜間における公園利用などモラルの問題で、公園が利用しにくくなっているように感じます。今回の事故もそうですが、何かが起きた後にきちんと改善を図っていけば、公園はより利用しやすくなると思います。

(記：大累)

コラム：防災について…

9 月 1 日は【防災の日】と制定されています。1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災の教訓を忘れないために制定されましたが、地震の他にも台風や大雨、それに伴う洪水が発生する確率が高いのも 9 月です。

様々な災害に備え、つどいの家・アプリでは防災訓練の実施、防災備蓄品の管理を行なっていますが、以前防火管理者講習を受講した際に講師の方が話していたのは、まずは身体で覚える！ということ。緊急性の高い状況になった場合、どんなにマニュアルを作りこんでいても身体で覚えていないと対応することができないとのことでした。訓練の際の天候によっても避難の対応は変わっていきます。考え出せばキリがありませんが、あらゆる場面を想定した訓練を定期的に行なっていくことが大切なことだと感じています。

また、物品に関しては日常生活に必要な物だけでなく、普段お薬を飲んでいる方は処方箋、お薬手帳を携帯しておくことも大切です。

しかし、1 番大事なことは助け合いなのではないでしょうか。普段から挨拶を交わしながら顔を知り合っておくことや、地域のイベント等に参加して交流を持つこと。その繋がりを作ることが 1 番の防災に繋がることなのではないかと思います。(記：押切)





初めての選挙へ...

7月、参議院議員選挙。カモミールグループの橋本昂樹さんが人生初めての投票に行ってきました。事前に「選挙について」「候補者について」を調べ、当日を迎えました。いつもニコニコ笑顔の昂樹さんですが、その日の朝はとても真剣な表情でした。

投票所に到着し、職員は会場の外で待機。代わりに2名の係員の方が優しく声掛けし、投票の援助をしてくださいました。昂樹さんにとっては初めて関わる人ですが、緊張しながらも、持参した候補者の写真を指差したり、ジェスチャーでしっかりと意思を表示できたとのこと。係員の方もそれを読み取ってくれたようでした。アプリに戻った昂樹さんは、緊張も解け、達成感のある笑顔を浮かべていました！

昂樹さんのお母さまからもコメントを頂いたので、以下にご紹介したいと思います。

20歳になって選挙権を得てから7年、息子には難しいだろう…と勝手な親の思い込みで権利を放棄してきました。今回、選挙期日前投票を活動内でどうですか？とご提案をいただいた際、彼の視点でどういう一票を投じられるのか？正直、初めに不安を感じました。でも、同時に、もし投票が可能なら一人の大人としての彼自身に委ねてみれば良いのかな？とも考えました。結果、思った以上に彼の大人の一面が見られたようで、貴重な体験をさせていただいたことを心から感謝しています。親の勝手な思い込みで息子の可能性を伸ばし切れていないことがたくさんあるな…と今さらながら考えるきっかけになりました。



障がいのある人が選挙に参加する為には課題が多くありますが、一緒に選挙や候補者について学んだり、実際に投票所に行ってみたりと、まず一歩踏み出してみることが大事かと思います。今後も利用者とチャレンジし、色々な経験を積んでいきたいです。（記：三浦）

研修に行ってきました

8月25日、東京エレクトロンホール宮城で『医療的ケアと日常生活上のケア 重症児者の生活場面で活かせる医学的知識と工夫』という研修が行われ、ミントグループの職員で参加して来ました。誤嚥や呼吸障害、体の変形など、重症心身障害のある方が日常生活の中で陥りやすいリスクとその対処について、解剖学的な視点から分かりやすく学ぶことができました。

重症心身障害のある人は筋緊張や側弯による体の反り、また嚥下障害があることにより、首の反り返りで気道が狭くなったり、舌や顎、喉の筋肉がうまく連動しないことで喉の奥に食べ物をスムーズに送り込めなかったりと、呼吸困難や誤嚥へ繋がるリスクが高まってしまいます。そのため、一人ひとりの体の状態に合わせて姿勢を整えたり、飲みこむ動きに合わせて食べ物を口に運ぶ量や早さを調整するなどの細かい介助がとても重要となります。

そうした介助の動き一つを取っても、体の中で何が起きているのかという根拠を知っていることでより効果的な介助を行うことができるほか、介助をする側、される側両者にとっての安心感にも大きく違いがでるのではないかと思います。

日々の活動や食事などを行うにあたり、姿勢や体調といった条件が整ってこそ万全に楽しむことができるのではないかと感じました。そのため、活動ももちろんのこと、毎日のケアの面を改めてしっかりと取り組んでいきたいです。（記：寺島）

みんなで野球観戦！



7月25日に楽天生命パーク宮城で行われた楽天イーグルスVS埼玉西武ライオンズの試合を、八木泰暉さん、栗野このみさん、吉田真紀さんと観戦してきました！球場に向かう車内でも楽天の話で盛り上がり、まるでちょっとした旅行のような気分でした。

試合が始まると、応援団に続いて利用者も応援グッズを叩いてリズムを取りながら、大きな声を出して応援をしました！「タオルをまわせ！！」のコーナーでは、好きな選手のタオルを一生懸命にまわす姿や、球場を見渡して一体感を感じている姿も！

試合結果は残念ながら楽天が負けてしまいましたが、利用者の楽天ファンとしての新しい一面を見ることができたほか、会場のファンとの一体感、試合の臨場感をとても楽しめた野球観戦となりました。今回ご招待いただいた「アイジー工業株式会社」さん、ありがとうございました！（記：石田）



コンサート外出

8月7日、東京エレクトロンホール宮城で行われた「だいすけお兄さんの世界名作劇場」に行ってきました！このコンサートは元NHK歌のお兄さんの横山太一氏による“世界の名作を、ちょっと不思議なミュージカル・コンサート仕立てに”というコンセプトの公演です。童謡やNHKでおなじみの歌がたくさんあり、一緒に歌ったり手を振ったりとノリノリで楽しみました♪なんと、公演中にだいすけお兄さんが目の前を通ってくれる場面も！憧れのだいすけお兄さんを近くで見ることができてみなさん大興奮でした。



公演後、昼食を食べたお店では車椅子でも通りやすいようテーブルや椅子を動かして下さり、地下鉄では駅員さんから声を掛けて頂き、乗り降りしやすいようにスロープを用意して下さいました。その他にもドアを開けて下さる方、声を掛けて下さる方など、1日を通して街の人々のあたたかさを感じることができました。アプリには音楽が好きな利用者がたくさんいるので、また機会を見つけて街のコンサートへ出かけたいと思います。（記：淡路）



ときとき☆宿泊体験会



8月22日～23日にかけて、七ヶ宿オートキャンプ場きららの森、秋保のホテルニュー水戸屋、七ツ森希望の家の三か所に分かれて一泊二日の宿泊体験会を行いました。みなさんで一緒にお風呂に入ったり、夜の時間を楽しんだり…普段の日中での関わりにはない時間を過ごすことのできた貴重な機会となりました。それぞれの宿泊の様子をご紹介しますと思います。

待ちに待った宿泊体験会。七ヶ宿チームは利用者7名、職員5名でオートキャンプ場きららの森のコテージに泊ってきました！

見渡す限りの芝生に夏ならではの虫の声。自然溢れる大満足的环境に、ワクワクドキドキが止まりません。夜ごはんの時間はあいにくの雨模様でしたが、スペシャルなバーベキューメニューの数々に舌鼓を打ち、大賑わいの食卓となりました。食後は、普段なかなか一緒に過ごすことのできない夜の時間帯。花火をしたり、お風呂に入ったり、テレビを見たり、話をしたりして思い思いに楽しみ、大満足で眠りにつきました。



コテージはお風呂や寝室、キッチンも広く調理器具も充実しているためとても快適で、ちょっとした別荘気分を味わうことができました。ひと夏の思い出に、ぜひみなさんも宿泊してみてください！（記：榊原）

七ツ森希望の家には利用者8名、職員6名の計14名で宿泊体験会に行ってきました！利用者のみなさんもワクワクしているようで、行きの車内から楽しそうな笑顔が見られていました。希望の家に到着し、お部屋に入ると横になる方もいれば、ベンチに座ってのんびり過ごす方、テレビを見て過ごす方とそれぞれ思い思いにリラックスしていました。



夕食後は待ちに待ったカラオケ！ということで、入浴を終えた方からカラオケを行ないました♪音楽に合わせて身体を動かしたり、歌を歌ったりと大盛り上がりでした。

「宿泊体験会楽しかったです。また七ツ森に行きたいです。」と話して下さった槻田朗さん。次の宿泊体験会も楽しみなようで、何度もお話して下さいました。

職員にとっても、利用者の夜間の様子を知ることができ、とても新鮮な体験でした。（記：渡部）

バジルグループの阿部ちあきさん、生江康子さんは秋保温泉のホテルニュー水戸屋に行ってきました！「温泉楽しみ♪」「どんなご飯がでるのかな？」と期待に胸を膨らませながら当日を迎えました。秋保里センターの中にあるcafé HACHIでランチをした後に秋保ヴィレッジでお買い物をし、いよいよ水戸屋へ！

今回は貸切風呂をお借りしたのですが、車椅子の方も入りやすいように入口のところにスロープがついていたり、脱衣所も広くてとても使いやすかったです。

広い湯船に浸かり、お二人とも気持ち良さそうな表情で楽しまれていました。普段の活動の中では見ることができない素敵な表情をみることができ、とても楽しい宿泊体験会となりました！

（記：佐藤（愛））



バザー物品募集

早いもので9月も終盤！10月19日に行われる「アプリのお宝市・バザーっす！」の開催が近づいてきました。

バザー本番に向け、つどいの家・アプリではまだまだバザー品を募集しております。ご自宅に眠っている品がございましたら、ぜひバザー品としてご提供いただければと思います。

また、お得な前売り券も販売しておりますので、お求めの際はつどいの家・アプリまでご連絡ください。よろしくお願いします！（記：岡崎）

●募集物品

衣類・生活雑貨・日用品(食品含む)・古本・CD類・食器類 等
(※古すぎる衣服や大型家電等のご遠慮させていただきます。)

●受付時間

10:00～17:00 (月～金曜日)

●連絡先

つどいの家・アプリ

TEL：022-743-1882 担当：岡崎・加藤（裕）・佐藤（智）

アプリのお宝市

～バザーっす！～

10月19日(土)

10:30～14:00 開催

新職員紹介

7月より、新しく1名の職員がアプリに入職しました。



運転手 **鈴木 勝廣**

Q.好きなことは何ですか？

A.ゴルフです。

Q.今後の意気込みを！

A.一日も早く業務を覚えられるように頑張ります！！

ボランティア募集

つどいの家・アプリではボランティアさんを大募集しています！利用者と楽しくお話したい方や体を動かすことが好きな方、楽器を演奏できる方、一芸があるのでみんなに楽しんでもらいたいという方など大歓迎です！！

活動の時間帯は10:00～15:30ですが、午前のみ、午後のみでも構いません。興味のある方は、ぜひ一度つどいの家・アプリまで見学に来て下さい。お待ちしております！（記：渡部）



編集後記

秋ですね。毎年この時期になると楽しみなのが「はらこ飯」！スーパーに鮭や生筋子が並んでいるのを見るとわくわくします。外食でも手作りでもコストが高かったので以前はなかなか食べられませんでした。最近ではコンビニでおにぎりとして売られているのを見かけるようになり、手軽に食べられるようになってありがたいな～と思います。みなさんの秋の味覚は何ですか？（記：寺島）